



となん

岩手県立盛岡となん支援学校

矢巾町医大通二丁目1番5号 TEL019-601-2227

令和2年度 第3号

明るく 強く

発行日 令和3年1月4日

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、校外での学習は、中学部の修学旅行（久慈・宮古方面）以外ほとんどできませんでした。そこで、第3号では、校内で行われた10月以降の様々な行事についてご紹介したいと思います。

小学部は、校外学習が一つもできなかったことから、児童のために校内での様々な鑑賞会を企画しました。郷土芸能を知る学習では「獅子踊り」を鑑賞しま

した。奥州市江刺のかなつりゅうかるいしししおどり金津流軽石獅子躍の迫力ある太鼓と踊りに、児童の目は釘付けでした。また「金管アンサンブル」の鑑賞も行いました。有名なウィリアムテル序曲から本校の校歌まで様々な曲を演奏してもらい、児童たちは体を揺らしながら、楽しんでいました。

中学部では、進路について学習を深めました。本校中学部を卒業し

て、普通高校に通い、今はウェブデザイナーをしている先輩の話を聞いて、自分の何年後かの進路について想像し、自分に足りないことを模索しました。「できない自分を特別扱いしていたのは自分自身。できないからやらないのではなく、できない部分を周囲に頼めば自分でできるようになる。自分で挑戦する機会を自分で増やすべき」という先輩の言葉に、多くの生徒が一步を踏み出す勇気をもらいました。その先輩は、岩手県のeスポーツ界ではとても有名な方で、講演を聴いた後には、eスポーツ協会の方の協力で、みんなでeス



ポーツを体験しました。中でも太鼓の達人というゲームは、障がいの重い生徒も楽しむことができました。また、翌日には「先輩から学ぶ進路講演会」で高等部の先輩から、高等部での生活や中学部でどのように過ごすべきかを聞き、近い未来に向けての進路について学習を行いました。



高等部では、農福連携についての授業を行いました。農業と福祉の関わりを学んだ後、リンゴの糖度測定に取り組みました。3密を避けるため毎年行っていた小学部・中学部・高等部が一堂に集まったの全校集会を行うことができませんでしたが、高等部ではそれを逆手にとって、その時間で高等部モルック大会を行いました。木の棒を倒して点数を競うゲームです。障がいの程度に合わせて、ボールの大きさを変え、障がいの重い生徒はボールを転がす傾斜板を用いて取り組み、大いに盛り上がりました。



また、オリンピック・パラリンピック推進室から、聖火のトーチや陸上競技用車椅子・車椅子バスケット用車椅子を借りて、聖火リレーのまねや、車椅子（陸上競技用とバスケットボール用）の試乗を行いました。生徒も先生も盛り上がり、パラリンピックへの気運が高まりました。本校にもパラリンピックを目指している選手がおります。



12月に行われた「総合的な探究の時間発表会」でも、3年後パリで行われるパラリンピックに出場するという夢を語ってくれました。ぜひ応援をよろしく願います。

小学部のクリスマス会には3人のサンタさんが訪れました。子供たちはプレゼントをもらい、満足した面持ちでした。

本校の児童生徒は、平常時でもなかなか屋外で活動する機会が少ないです。また外出する際にもたくさんの支援を必要とする場面が多いです。校外学習では、バスに車椅子を乗せて移動していきます。家庭や放課後デイサービス以外で、校外での学習経験を深めるための数少ない貴重な学習活動となるのが本校の校外学習の特徴です。今年こそは、新型コロナウイルス感染症対策が進み、安全で安心した環境で校外学習ができるようになることを願ってやみません。

